

40Mビット3Dグラフィックス用 フレームバッファメモリ(3D-RAM5)

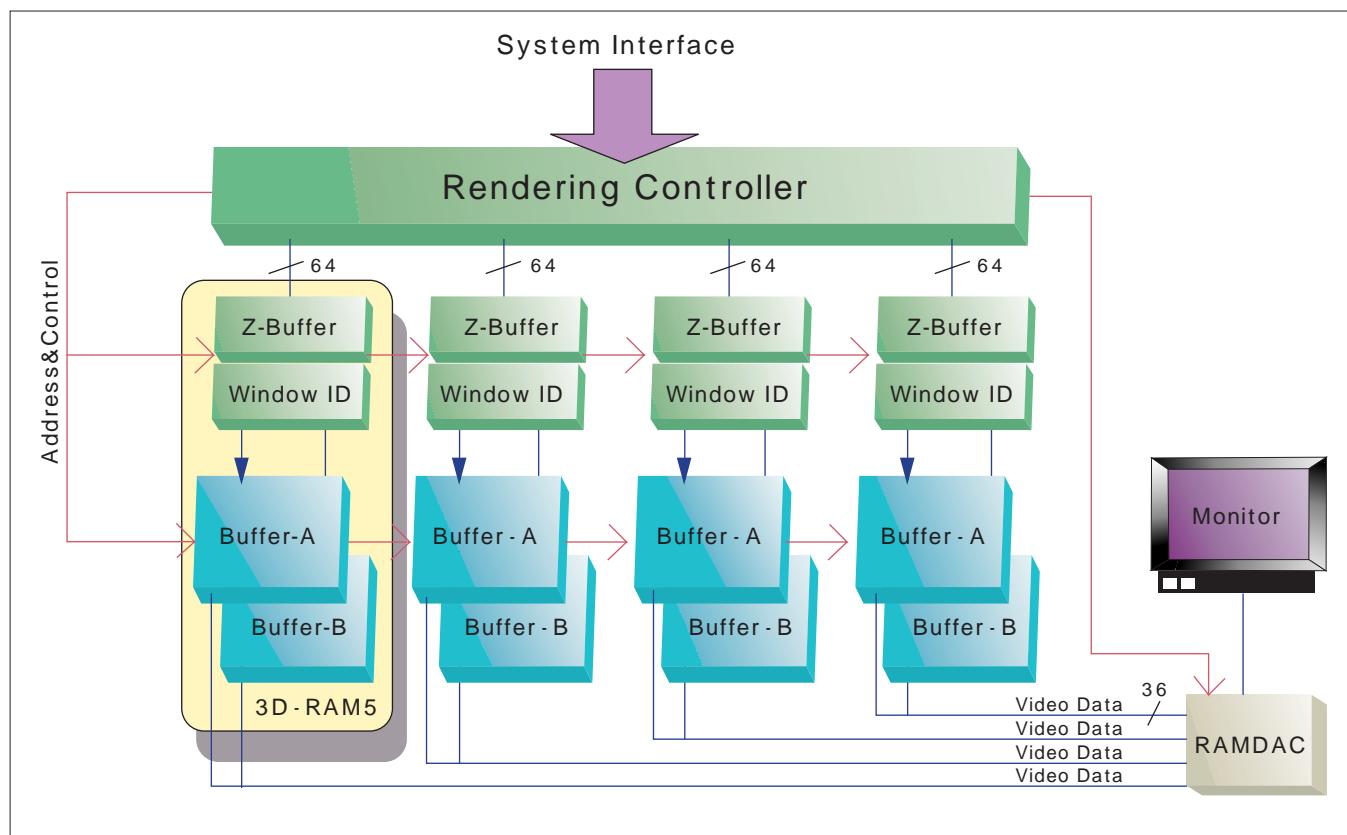
京屋貴則*
中村 尚*
山本耕次**

要 旨

三菱電機(株)では、三次元グラフィックス用フレームバッファメモリ(3D-RAM)を1995年に世界で初めて製品化し、以来、国内外のワークステーション、パソコン、グラフィックスアクセラレータボード、ビデオエフェクタ等を製作しているメーカーに採用され、競争の激しい三次元グラフィックス市場において常にリーディングデバイスの地位を確保してきた。

今回、市場の急速な性能向上トレンドをとらえ、同時に更なる搭載システムコスト低減を実現するため、“3D-RAM第五世代”の開発を行った。

搭載メモリ容量と内部バス幅は従来比で4倍、動作周波数は143MHzを達成しており、今後のグラフィックス市場でも最も高性能な三次元処理が実現できる。



三次元グラフィックスにおけるフレームバッファメモリ使用例

3D-RAM第五世代は、三次元グラフィックスシステムで使用される様々な画像処理に必要な機能をワンチップ化した次世代三次元グラフィックスに対応したデバイスであり、従来のフレームバッファメモリに比べ、高速で、しかも低コストといった特長を持っている。